

大阪教育大学における学校安全の取り組み ～教員養成・教職員研修・教材開発と セーフティプロモーションスクールについて～

大阪教育大学 教授

学長補佐(学校安全担当)

学校安全推進センター長

藤 田 大 輔



「学校危機メンタルサポートセンター」から 「学校安全推進センター」への改組

〔平成15年4月 設置〕

学校危機メンタルサポート
センター

トラウマ回
復分野

学校危機
管理分野

トラウマ回
復部門

心の教育
部門

学校危機
管理部門

トラウマ心
理相談室

〔令和2年4月 改組〕

学校安全推進センター

トラウマ回
復部門

学校危機
管理部門

心理相談
室

SPS認証
支援室



今回の発表内容について

I 教員養成の取り組み

- 学部・教職大学院における「学校安全」の必修化
- 普通救命講習の必修化
- 教育実習における不審者対応訓練への参加

II 教職員研修の取り組み

- 本学教職員（附属学校園を含む）対象の研修・訓練
- 安全主任講習会
- 学校安全コーディネーター養成研修
- e安全教育普及員養成セミナー
- SPS推進員養成セミナー

III 安全教育教材開発の取り組み

- 「犯罪からの子どもの安全」プロジェクト
- 安全・防災教育のプログラム開発（HATOプロジェクト）
- 校内ヒヤリハット登録システム（仮称）の開発と教材活用

IV セーフティプロモーションスクールの普及

- セーフティプロモーションスクール（SPS）の普及状況



■講義

〔学部〕（教職専門科目：H19～・教育基礎科目：H29～）

・「学校安全」【必修】

2年生対象：前期・後期（各：月¹・火²・木¹・金¹）開講

R2年度（前・後期）の受講学生数 計 953名

教科書：教師のための学校安全

オンライン講義教材：

教職員のための学校安全eラーニング「基礎研修①～③」

講義の一部として、附属池田小学校の施設見学と

附属池田小学校事件被害者(遺族)の講話を含む

（ただし、R2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため見学・講話は中止）

〔教職大学院〕（研究科共通科目：H31～）

・「学校安全と危機管理」【必修】

R2年度（前・後期）の受講学生数 計 107名



「学校安全」で扱った講義内容の例〔Ⅰ 教員養成〕

附属池田小学校事件に関わる反省と教訓を基盤としつつ
教職員が実践する「学校安全」として

- 訓練(不審者対応・地震避難・火災避難等)の実施計画(時期, 回数)と内容〔映像視聴〕
- 危機発生時の初動対応(通報・救急搬送)
- 校内組織活動と地域・家庭との連携〔SPSなど〕
- 安全点検の情報共有
- 「学校事故対応に関する指針」の理解
- IDカード着用の意味と勤務時の服装
- 安全教育とカリキュラムマネジメントの考え方
- 教職員のための学校安全eラーニング「基礎研修①～③」

※4月1日から教員として勤務を開始するための「心構え・準備」の意義を理解し、実践する能力を育成する



〔Ⅰ 教員養成〕

■附属池田小学校事件の「語り継ぎ」事業

- ・「**学校安全の日**」の事業として、大学の授業の中で事件の「語り継ぎ」を実施（令和2年6月8日）

参加教員数 **177名**・参加学生数 **1,807名**

使用冊子「**附属池田小学校事件を語り伝えていくために**」

■「普通救命講習会」の実施

- ・令和2年度学生対象普通救命講習会

柏原キャンパス **3回**開催

天王寺キャンパス **4回**開催

参加学生数 **95名**

※2019年度入学生から、

普通救命講習受講の「**必修化**」

（教員免許取得希望学生対象）



■教育実習中の不審者対応訓練
〔附属池田小学校での実践風景〕

〔Ⅰ 教員養成〕

児童の人数確認



〔Ⅰ 教員養成〕

■非常時の危機対応訓練（学生・教職員：合同実施）

- ・地震発生を想定した非常時の危機対応訓練
（柏原キャンパス：令和2年11月4日）
- ・学生宿舎及び留学生宿舎における火災発生を想定した
防災訓練（柏原キャンパス：令和2年11月4日）

■安否確認システム「ANPIC」を活用した訓練

（学生・教職員：合同実施 令和2年9月4日）

参加学生・教職員数 計 3,826名

- ・ANPIC：大阪府に隣接する府県（奈良県，和歌山県，兵庫県，京都府）において、震度5強以上の地震を気象庁が観測した際，学生・教職員の携帯電話やパソコンに安否確認メールが送信される。



〔Ⅱ 教職員研修〕

■防犯訓練 対象：本学教職員 参加者数 198名
(柏原キャンパス：令和2年12月25日)

■学校安全主任講習会(令和2年度)

対象：本学附属学校園の学校安全主任および学校安全
に関心を持つ全国の教職員 認定者数 57名

(学校安全推進センター：令和2年11月15日～16日)

〔平成20年度以降、全国から参加した延べ840名を認定〕

講習内容例(講義・演習+附属池田小学校見学)

- ・児童・生徒等への安全教育
- ・学校における安全管理と組織活動
- ・学校防災の基礎：災害の基礎知識と公共情報の活用
- ・学校危機時の対応
- ・学校危機後の心のケアと学級運営



〔Ⅱ 教職員研修〕

■教職員研修等の開催（令和2年度）

対象：本学及び附属学校園の教職員

- ・普通救命講習（附属11校園ごと開催）
受講修了者数 239名
- ・応急手当普及員講習会（R2年8月24日～26日）
資格認定者数 21名（学内総計 141名）

対象：全国の学校・教育委員会等の学校安全担当者

- ・学校安全コーディネーター養成研修
受講修了者数 57名（H28年度以降 計 240名）
- ・e安全教育普及員養成セミナー
受講修了者数 18名（H28年度以降 計 138名）
- ・セーフティプロモーションスクール推進員養成セミナー
受講修了者数 232名（H28年度以降 計 697名）



〔Ⅲ 安全教育教材の開発〕

H19年度～H24年度

独立行政法人 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター
(RISTEX)委託事業

犯罪からの子どもの安全を目指したe-learningシステムの開発

H25年度～H29年度

大学間連携による教員養成の高度化支援システムの構築
〔教員養成ルネッサンス・HATOプロジェクト〕

先導的実践プログラム部門:先導的教員養成への取組
安全・防災教育のプログラム開発プロジェクト

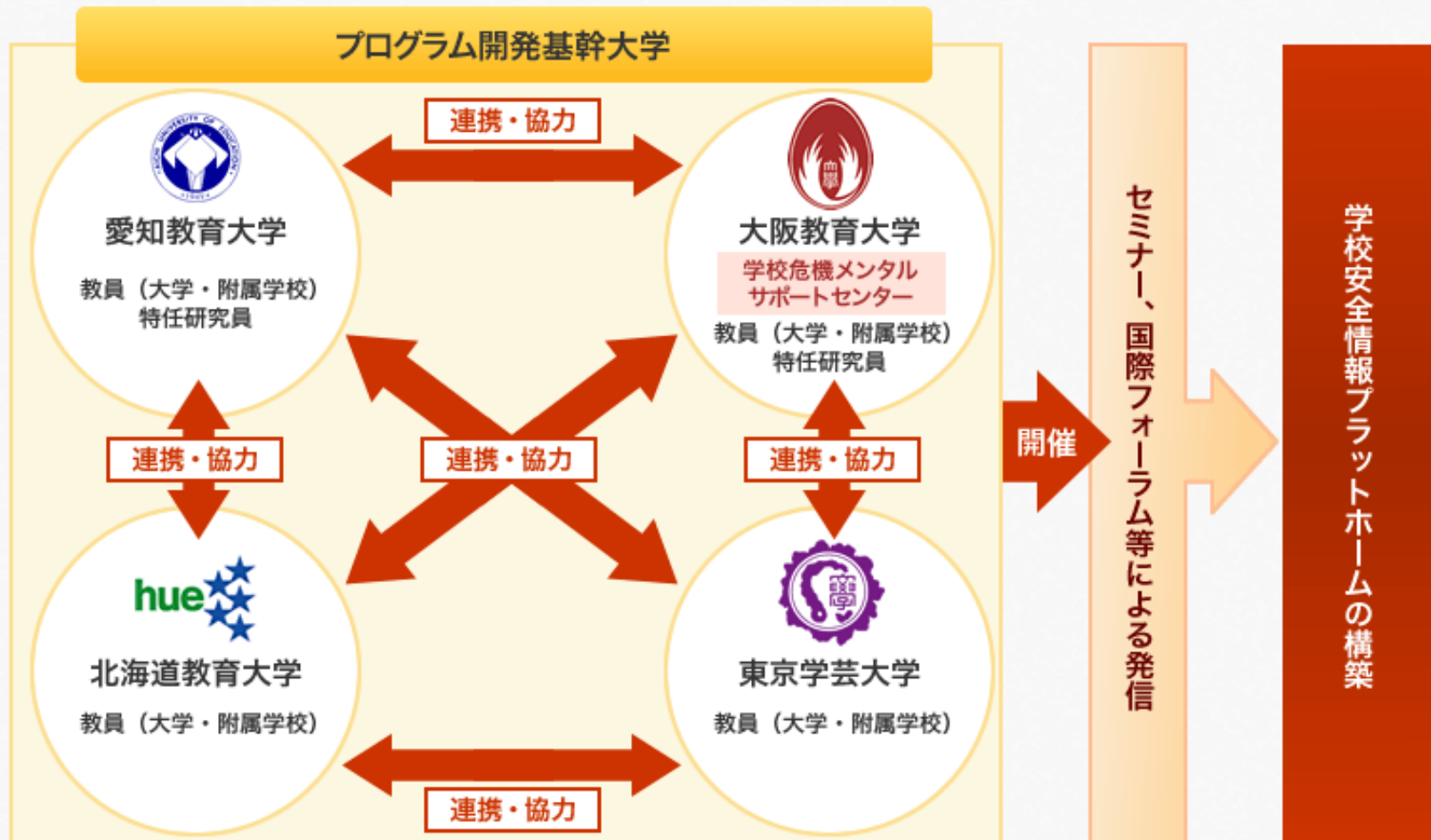


〔Ⅲ 安全教育教材の開発〕

事業のイメージ



安全・防災教育のプログラム開発～大阪教育大学を中心にして～



「安全・防災教育のプログラム開発」プロジェクト

学校安全情報プラットフォーム

事業担当: 大阪教育大学

e安全教育(こども安全教室)

(H) 北海道教育大学

(A) 愛知教育大学

(T) 東京学芸大学

(O) 大阪教育大学

の各附属小学校と連携・協力

【e安全教育研修会の開催】

(e安全教育普及員養成セミナー)

【教材開発】

「犯罪からの安全」教材開発協力者会議

(平成26年度完成)

「外傷からの安全」教材開発協力者会議

(平成25年度～)

「災害からの安全」教材開発協力者会議

(平成25年度～)

「交通事故からの安全」教材開発協力者会議

(平成29年度～)

教材改修

実証実験授業を通じた開発教材の効果測定



「犯罪からの安全」教材例

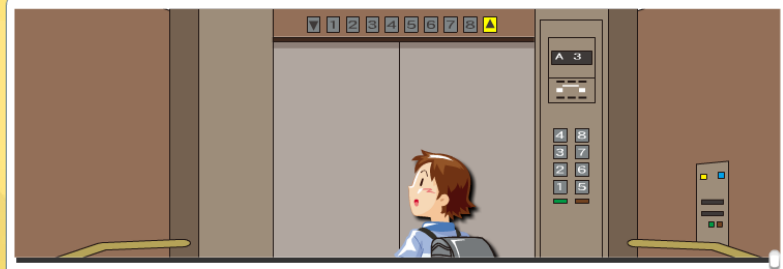


▶ ◻ ぼうはん 防犯ブザーは、どこに持つのがいいでしょうか？

回答入力

ランドセルの外(そと)

ランドセルの中(なか)



▶ ◻ ひとり 一人でエレベーターに乗った時は、どこに立つのがいいのかな？

回答入力

一番奥(いちばんおく)

ボタンの前(まえ)

真(ま)ん中(なか)

入口(いりぐち)の前(まえ)



▶ ◻ ひと かわい人はどんな顔をしているのかな？

回答入力

マスクとサングラスをしている人(ひと)

おじさん

若(わか)い女性(じょせい)

若(わか)い男性(だんせい)



▶ ◻ とき こんな時、あなたならどうしますか？

回答入力

お家(うち)まで
荷物(にもつ)を持(も)ってあげる

「ごめんなさい」と言(い)って帰(かえ)る

「外傷からの安全」教材例

きゅうきゅうしゃ よ

エーイーディー も

救急車を呼んでもらったりAEDを持ってきてもらうのも良い方法です。



エーイーディー いしき うしな たお
AEDは意識を失って倒れた
ひと 人を、その場にいる人たちが
その場で倒れた人の命を
すく 救うために使用する機器です。

高学年問題

「もし人が倒れていたら」の一コマ

- 倒れている人への声掛け
- 大人の人に助けを求める
- AEDについての知識

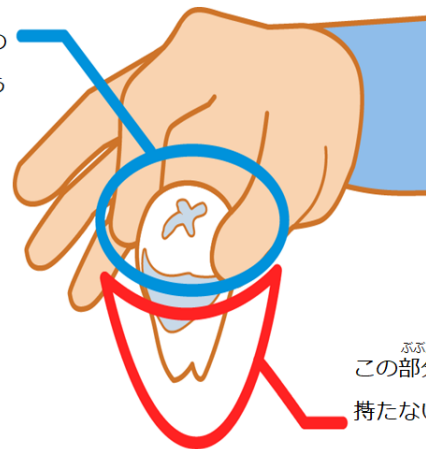
高学年問題

「歯や口にけがをした時は？」の一コマ

- 抜けたり折れたりした歯をどうするか
- 保健室まで先生に付いてきてもらう
- 抜けたり折れたりした歯への対処法
→教員の確認効果も

ぬ け たり 折 れ たり し た 歯 は、 保 健 室 に 持 っ て 行 く こ と
に な っ て い ま す。

も 持 っ と き は 必 ず こ の
部 分 を 持 ち ま し ょ う



ぶ ぶ ん し こ ん
こ の 部 分 (歯 根) は
持 た な い よ う に し ま し ょ う

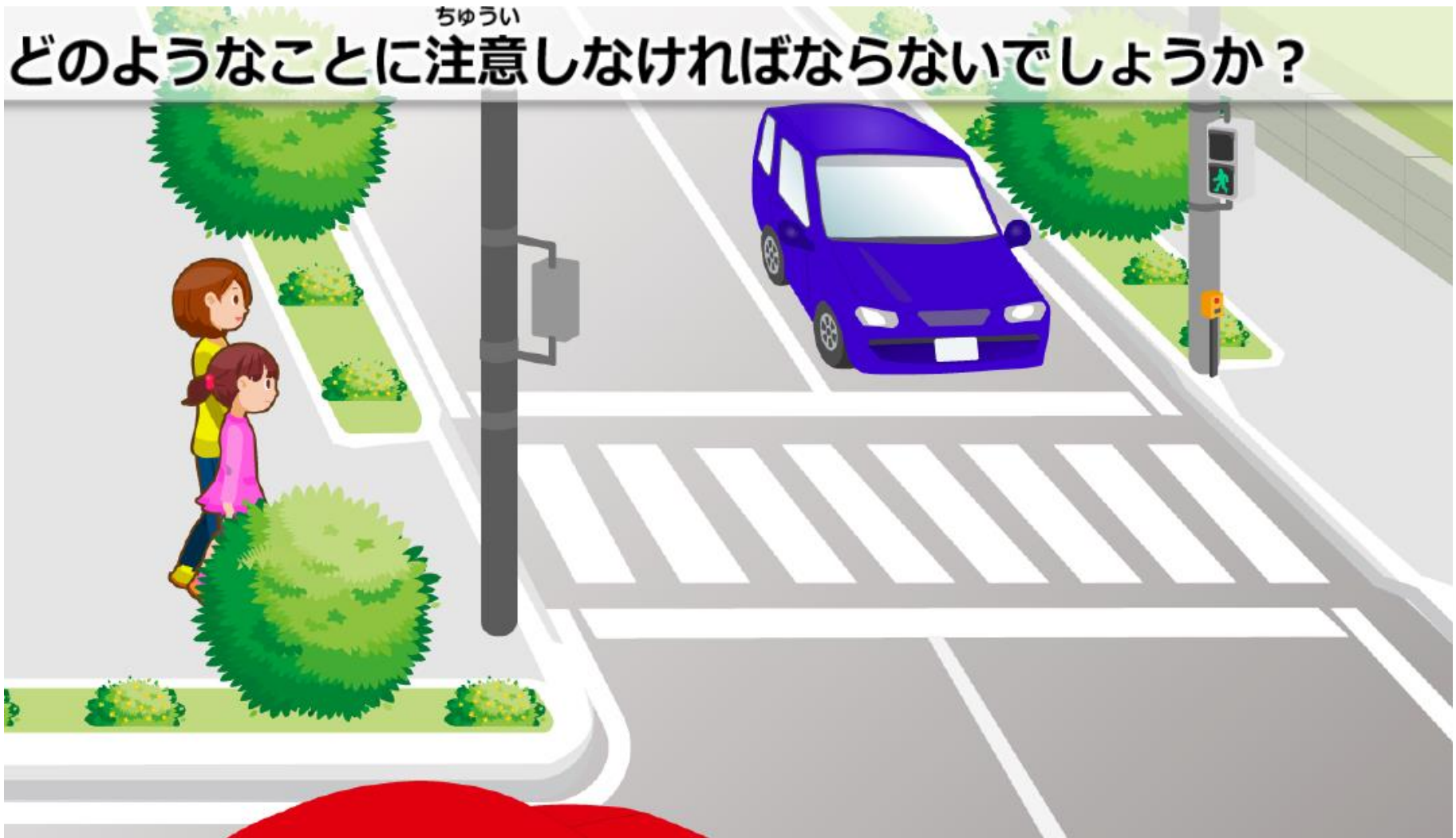


「災害からの安全」教材例



「交通事故からの安全」教材例

ちゅうい
どのようなことに注意しなければならないでしょうか？



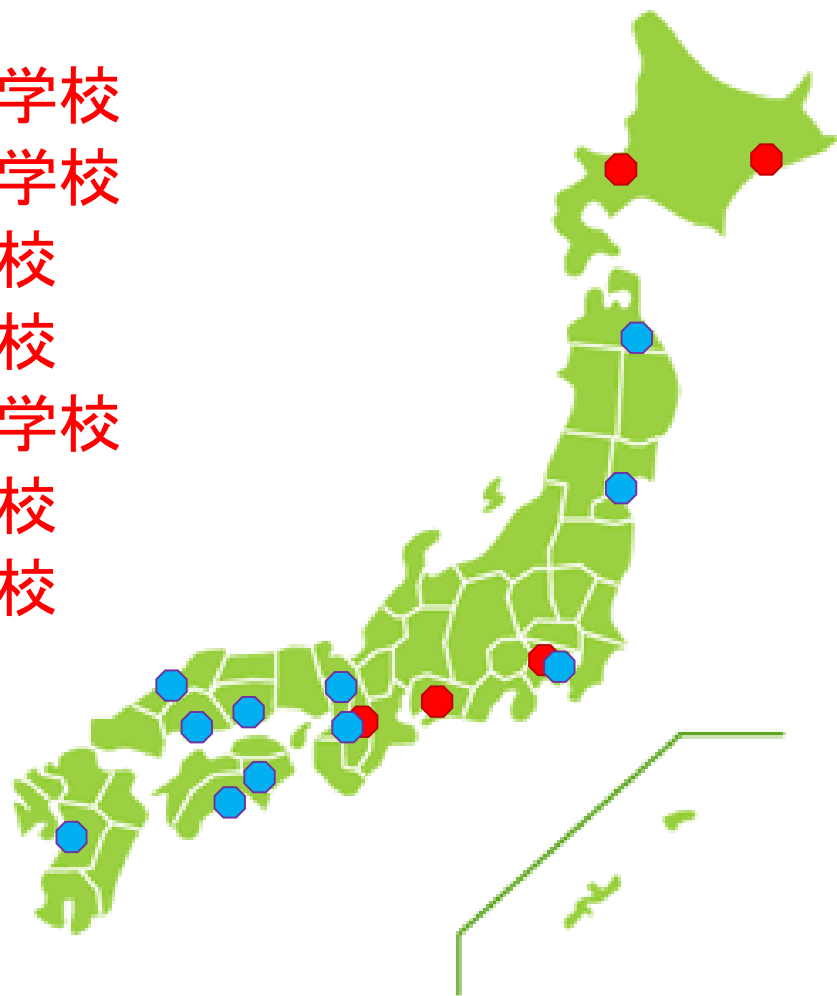
e安全教育実施協力校〔2021年3月末時点〕

【HATO 4大学附属校】

- ・ 北海道教育大学附属札幌小学校
- ・ 北海道教育大学附属釧路小学校
- ・ 愛知教育大学附属岡崎小学校
- ・ 東京学芸大学附属竹早小学校
- ・ 大阪教育大学附属天王寺小学校
- ・ 大阪教育大学附属池田小学校
- ・ 大阪教育大学附属池田中学校

【一般協力校】

- | | |
|-------|-------|
| ・ 青森県 | ・ 宮城県 |
| ・ 東京都 | ・ 京都府 |
| ・ 大阪府 | ・ 岡山県 |
| ・ 広島県 | ・ 島根県 |
| ・ 高知県 | ・ 徳島県 |
| | ・ 熊本県 |



〔観察された教育効果〕

- ・受講した子どもたちの安全意識や安全行動が**改善**！
- ・受講した子どもたちのスクールガードの方々へのあいさつが**改善**！
- ・校内でのケガの発生件数が**減少**！
- ・保護者参加型の授業構成により、保護者の安全推進への連携・協働に関わる意識・態度が**改善**！

子どもたちと保護者の 安全への意識と行動 の変化

〔教材利用の普及〕

- ・学習指導案の提供により、
全国で**190校以上**の
公立小学校で教材が**活用**！
(2021年3月末時点)



開発した安全教育デジタル教材利用希望者 (教職員・スクールガードリーダーなど)を対象とした 「e安全教育普及員養成セミナー」の開催

大阪府・東京都・岡山県・高知県で開催

〔受講者(教職員)の感想〕

- ・実際に教材を使ってみることで、安全教育への重要性や親しみが実感できた。
- ・実践経験者ならではの教材活用の工夫を共有することができ、自校での実践に活用できた。
- ・自身の知識の再確認につながった。

教員の安全教育への
意欲の変化



〔Ⅲ 安全教育教材の開発〕

「校内ヒヤリハット登録システム(仮称)」の開発と教材活用 【附属池田中学校で実証実験開始: R3.9~】



校内で、「ヒヤリハット」に気づいたら、GIGAスクール構想で配布された端末を活用して「ヒヤリハット」のポイントを生徒・教職員が端末画面上で登録



1階 〔例: 端末画面上の校舎配置図〕



登録された情報を整理・集計して「安全管理」と「安全教育」の教材資料として活用



〔Ⅳ SPSの普及〕

大阪教育大学では、**附属池田小学校事件の教訓**を基に、
わが国の教育振興基本計画における

自助・共助・公助の理念の下に、

教職員，児童・生徒，PTA，地域が参加する

共感と協働に基づく

安全教育・安全管理・安全連携

を推進する新たな包括的な「学校安全」の取り組みとして、

「セーフティプロモーションスクール(SPS)」

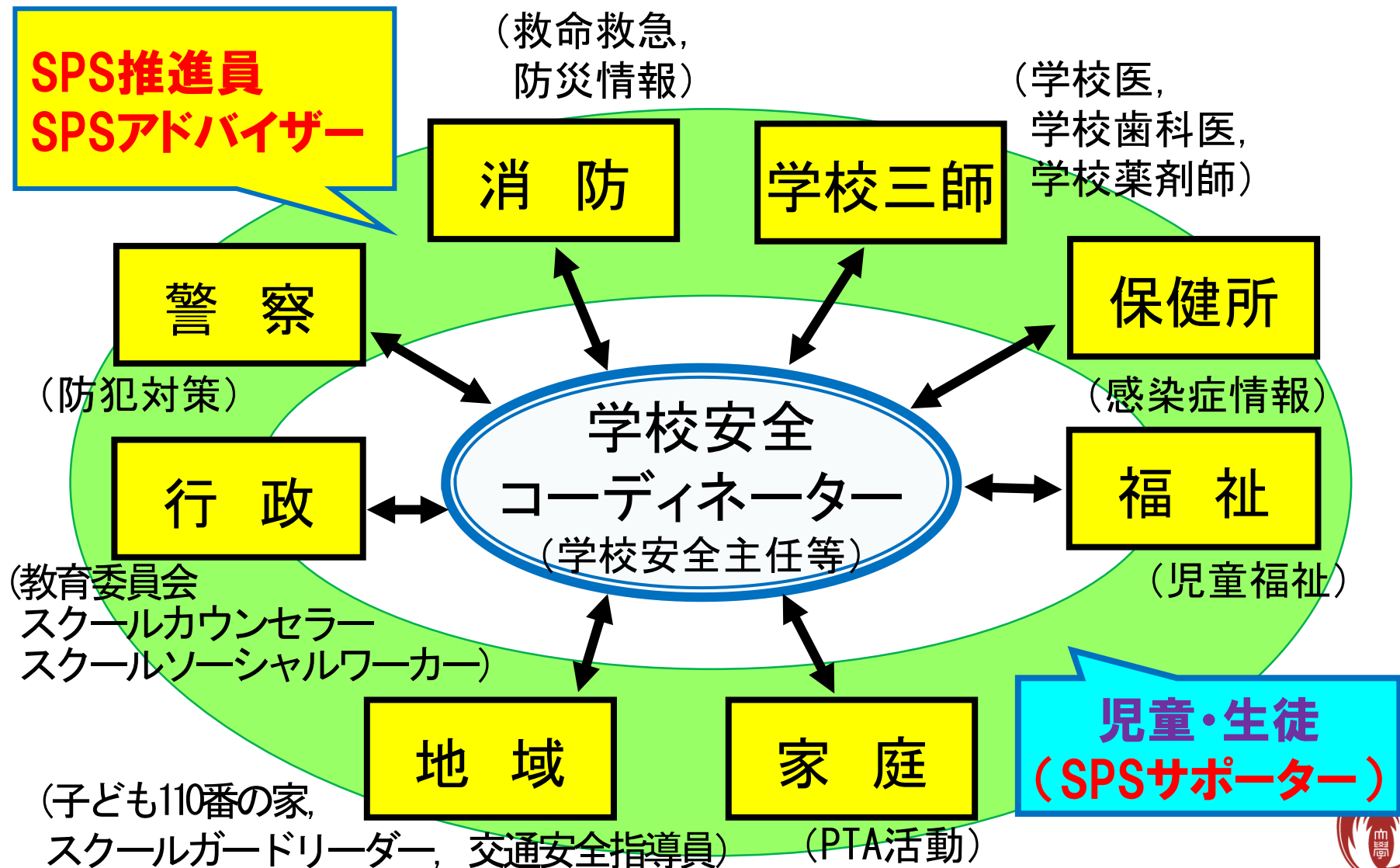
の普及を推進しています。



セーフティプロモーションスクールの7つの指標

指標1 (組織)	学校内に、「学校安全コーディネーター」等を中心とする学校安全推進のための「 学校安全委員会 」が設置されている。
指標2 (方略)	学校において、「生活安全」・「災害安全」・「交通安全」の分野ごとに、セーフティプロモーションの考え方に基づいた「中期目標・中期計画(3年間程度)」が設定されている。
指標3 (計画)	学校安全委員会において、「中期目標・中期計画」に基づいた学校独自の学校安全推進のための「年間計画」が、「安全教育」・「安全管理」・「安全連携」の領域ごとに具体的に策定されている。
指標4 (実践)	「年間計画」に基づいて、学校安全委員会を中心に、学校関係者が参加して、学校安全推進のための活動が年間を通じて継続的に実践されている。
指標5 (評価)	学校安全委員会において、実践された学校安全推進に関わる活動の成果が定期的に報告され、それぞれ分析に基づく明確な根拠をもとに学校安全推進活動に対する評価が行われている。
指標6 (改善)	学校安全委員会における次年度の「年間計画」の策定にあたって、それまでの活動成果の分析と評価を参考に、当該校における学校安全に関わる実践課題の明確化と「年間計画」の改善が取り組まれている。
指標7 (共有)	学校安全推進に関わる活動の成果が、当該の学校関係者や地域関係者に広報・共有されるとともに、「協働」の理念に基づいて、国内外の学校への積極的な活動成果の発信・共有と新たな情報の収集が継続的に実践されている。

「学校安全委員会: **チーム学校安全**」の例



文部科学省初等中等教育局健康教育・食育科の
平成28年度事業及び平成29年度事業の「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」の中で、「セーフティプロモーションスクール等の先進事例を参考に地域の学校安全関係者（有資格者等）、関係機関及び団体との連携・協力」という事業が設定されました。

また平成30年度から始まった「学校安全総合支援事業」は令和3年度においても引き続き予算化され、「学校種・地域の特性に応じた地域全体での学校安全推進体制の構築を図るため、セーフティプロモーションスクール等の先進事例を参考とする...」と、セーフティプロモーションスクールに関わる事業が展開されています。



セーフティプロモーションスクールの活動については、
「令和2年度 文部科学白書」(2021.07.20掲載)において、
「第4章 第12節 子供の健康と安全」、「3 学校安全の
推進」の「(4)実践的な安全教育の充実」の中で
「学校安全総合支援事業において、セーフティプロモ-
ーションスクール^{*21}等の先進事例を参考とするなどして、
学校安全の組織的取組と外部専門家の活用を進めると
ともに、各自治体内での国立・私立を含む学校間の連携
を促進する取組等を支援しています。」と紹介されていま
す。

^{*21} セーフティプロモーションスクール:地域の学校安全関係者や関係
機関等と連携・協力し、学校安全計画の評価や評価の次年度計画への
反映など、PDCAサイクルに基づく継続的な安全推進に取り組む学校を
大阪教育大学が認証する取組



さらに令和3年6月18日に閣議決定された

「経済財政運営と改革の基本方針 2021

日本の未来を拓く4つの原動力 ～グリーン、デジタル、
活力ある地方創り、少子化対策～」(骨太の方針 2021)

「第2章 次なる時代をリードする新たな成長の源泉
～4つの原動力と基盤づくり～」

「5. 4つの原動力を支える基盤づくり」

「(1) デジタル時代の質の高い教育の実現、イノベーションの促進」の中で、

「通学時等を含む安全・安心な教育環境を整備しつつ、
組織的・実証的な安全対策に取り組むセーフティプロ
モーションスクールの考え方を参考にした学校安全を推
進する。」と明記されています。



セーフティプロモーションスクール認証校 日本国内①

2021年8月1日現在

2015年 3月 6日（再認証：2018年3月6日，再々認証：2021年3月6日）

- ・ 大阪教育大学附属池田小学校（大阪府池田市）
- ・ 大阪教育大学附属池田中学校（大阪府池田市）
- ・ 台東区立金竜小学校（東京都台東区）

2016年 3月 7日（再認証：2019年3月4日）

- ・ 京都市立養徳小学校（京都府京都市）

2017年3月17日

- ・ 宿毛市立山奈小学校（高知県宿毛市）

2017年5月26日（再認証：2020年5月28日）

- ・ 石巻市立鮎川小学校（宮城県石巻市）

2017年7月18日（再認証：2021年4月30日）

- ・ 大阪市立堀江小学校（再認証）（大阪府大阪市）
- ・ 大阪市立堀江幼稚園（大阪府大阪市）

2018年3月14日

- ・ 高知市立旭小学校（高知県高知市）



セーフティプロモーションスクール認証校 日本国内②

2021年8月1日現在

2018年3月15日（再認証：2021年3月22日）

- ・ 大阪市立新高小学校（大阪府大阪市）

2018年3月19日（再認証：2021年5月26日）

- ・ 石巻市立広渕小学校（宮城県石巻市）
- ・ 石巻市立住吉中学校（宮城県石巻市）

2018年5月24日（再認証：2021年5月31日）

- ・ 大阪府立中央聴覚支援学校（大阪府大阪市）

2019年2月15日

- ・ 石巻市立万石浦小学校（宮城県石巻市）
- ・ 石巻市立青葉中学校（宮城県石巻市）

2019年3月1日

- ・ 大阪市立瓜破中学校（大阪府大阪市）

2020年2月19日

- ・ 石巻市立渡波小学校（宮城県石巻市）
- ・ 石巻市立湊中学校（宮城県石巻市）



セーフティプロモーションスクール認証校 日本国内③

2021年8月1日現在

2020年3月9日

- ・ 兵庫県立東播磨高等学校 (兵庫県加古郡)

2020年10月2日

- ・ あけぼのほりえ子ども園 (大阪府大阪市)

2021年2月8日

- ・ 宮崎県立門川高等学校 (宮崎県東臼杵郡)
- ・ 門川町立門川中学校 (宮崎県東臼杵郡)

2021年2月24日

- ・ 石巻市立河北中学校 (宮城県石巻市)
- ・ 石巻市立湊小学校 (宮城県石巻市)

2021年3月3日

- ・ 高槻市立寿栄小学校 (大阪府高槻市)

〔日本国内で計25校を認証〕



セーフティプロモーションスクール認証申請校

2021年8月1日現在

大阪市立東小橋小学校	(大阪府大阪市)
寝屋川市立中木田中学校	(大阪府寝屋川市)
大阪教育大学附属天王寺小学校	(大阪府大阪市)
泉南市立砂川小学校	(大阪府泉南市)
大阪教育大学附属高等学校池田校舎	(大阪府池田市)
黒潮町立南郷小学校	(高知県幡多郡)
平塚市立土屋小学校	(神奈川県平塚市)
河内長野市立石仏小学校	(大阪府河内長野市)
羽曳野市立羽曳が丘小学校	(大阪府羽曳野市市)
宮崎県立佐土原高等学校	(宮崎県宮崎市)
宮崎市立久峰中学校	(宮崎県宮崎市)
石巻市立石巻小学校	(宮城県石巻市)
石巻市立河南東中学校	(宮城県石巻市)
泉南市立東小学校	(大阪府泉南市)
高槻市立芝生小学校	(大阪府高槻市)
高槻市立丸橋小学校	(大阪府高槻市)

〔日本国内で計16校を認証支援中〕



国別にみたセーフティプロモーションスクール数

《2021.08.01》

	認証校	認証申請校
日本	25	16
中華人民共和国	30	25
タイ王国	2	16
連合王国(イギリス)	2	3
台湾	1	-
計	60	60



セーフティプロモーションスクールの活動は、
学校における「安全・安心への共感と協働」の
共有を基盤とし、子どもたちが10年・20年先の
地域の安全・安心を担う人材へと成長してくれ
ることを目標としています。



安全・安心の持続可能な発展

SPSサポーターの委嘱状を発行した児童・生徒数
計**536名**（14校：2021年8月1日時点）

